

2021年3月期 決算について

2021年 5月13日
JFE鋼板株式会社

2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(百万円未満切捨て)

連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	52,956	△ 17.6	784	△ 212	410
2020年3月期	64,253	△ 2.1	876	△ 364	256

注 連結子会社数 2021年3月期 5社、2020年3月期 5社
持分法適用関連会社数 2021年3月期 ー、2020年3月期 1社

(百万円未満切捨て)

(参考)単体経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	45,421	△ 13.8	1,202	△ 209	766
2020年3月期	52,683	△ 7.2	540	△ 363	274

【当期の概況】

国内薄板建材の需要は、2019年10月の消費税率引き上げ以降、低レベルで推移していましたが、さらに新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、2008年のリーマンショック以来の深刻な需要低迷に陥りました。

新規住宅着工戸数(持家)は前年比▲14%、非住宅着工床面積は同▲11%と需要が急激に減少しました。

この事業環境の悪化を受けて、当社の販売数量も大幅に減少し、子会社の工事関係部門における大型物件・工事等にも大きく影響しました。

【当期の損益】

連結経営成績は、売上高52,956百万円(前期比▲11,297百万円)、経常利益784百万円(前期比▲92百万円)、当期純利益410百万円(前期比+154百万円)となりました。

大幅に減収となる中で、単体の経常利益は東日本(京浜地区)の連続カラー塗装ライン(CCL)の休止前倒し、各ラインの稼働安定による変動費コスト減、管理費削減などの対策で増益となりましたが、コロナ影響等による子会社の収益減により連結では対前年比減益(▲92百万円)となりました。

【次期の見通し】

薄板建材需要は、回復傾向であるものの前期の水準には戻らない見込みです。コロナ禍の終息が依然不透明であり、原材料の高騰による大幅コストアップもあることから、経営環境は引き続き厳しいものと思われます。

このような環境下において、以下の施策を実行し、収益確保を目指します。

- 1) 原材料高騰によるコストアップについては、お客様にご理解いただきながら、価格改定に取り組めます。
- 2) 引き続き、東日本製造所(京浜地区)のCCL休止効果の最大化、全社CGL・CCLの稼働率・労働生産性の向上、製造コストや管理費の削減、品質・操業安定化に取り組む、合理化を図ってまいります。
- 3) 建材事業については、関係会社を含めた一貫戦略のもと、高付加価値商品の拡販等による販路拡大を図り収益力アップを目指します。

以上